

令和5年度 上京中学校の教育

◎校訓

「人・もの・ときを大切に」

◎学校教育目標

自立・貢献・夢づくり

～ 豊かな心とたくましく生きる力を備え、
夢や希望をもって、未来社会の創り手となる生徒の育成 ～

◎スローガン 「協働・創出」

“共通の目的を達成するために、お互いの違いを認めつつ尊重しあい、課題解決に向けて心を合わせて協力・協調し、物事を新しく創り出そうとすること”

◎育成をめざす資質・能力と心

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 情報収集・活用能力 【知識及び技能】・ 協働して課題解決する力【思考力、判断力、表現力】・ 創意工夫して発信する力（書く・話す・描く・制作する・行動する）
【思考力、判断力、表現力】【学びに向かう力、人間性等】
・ 折れない心（チャレンジ精神）・ 自他理解と自尊心（自己肯定感・自己有用感） |
|---|

◎めざす生徒像

1. 自己を見つめ、自らの課題に向き合う生徒
2. 目標を定め、主体的に学び・意欲的に行動・表現する生徒
3. 何事にも一生懸命に取り組み、粘り強くやり抜く生徒
4. 自らを律し、正しく判断・行動できる生徒
5. 多様な価値観を認め、互いに尊重し合い、共に助け合う生徒
6. 集団の中で、学び合い、磨き合い、高め合う生徒

◎学校づくりの5つの柱

「いのち」「よりそい」「つとめ」「ひろがり」「つながり」

◎めざす学校像

1. 明るく楽しく安心して通える学校
2. 一人一人の良さが発揮され、互いに成長し合える学校
3. 信頼され、誇りをもてる学校（通いたい・応援したい・働きたい）

○めざす教職員像 「教育は人なり」

1. 生徒理解に努め、一人一人によりそい大切にする教職員
2. 自らの仕事に誇りをもち、自ら学び続ける教職員
3. 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けてカリキュラム・マネジメントの視点を持ち、家庭・地域の教育力を生かし「社会貢献」「自分らしい生き方」の探求につながる取組を実践できる教職員

○学校経営方針

- ◆ 一致団結協働し、信頼され、自信と誇りをもてる学校づくり
(目指すは学校教育目標、育成すべき資質・能力、めざす像の実現)

➡ 「総合的な学習の時間」を軸にしたカリキュラム・マネジメント
「KYOTO×教育DXビジョン」の実現（令和5～7年度）

- ◆ 生徒指導提要、生徒指導の三機能を常に視点にもった教育実践
(自己決定の場・自己存在感・共感的な人間関係)

- ◆ 対応や取組の合言葉は『さしすせそ』

- ・ **最**初が肝心 … 第一印象、初期対応の大切さ。「おもてなしの心」も忘れずに。
まずは「計画・準備」と「(進んで) あいさつ・時間(守る)・掃除(環境美化)」の実践から。
- ・ **し**っかりと傾聴 … 信頼の第一歩。相手の話を最後まで聞く。「心の声」に耳を傾ける。
- ・ **素**早く行動 … 何事にも「迅速・丁寧・徹底」を心掛け。
- ・ **正**確な記録 … トラブルの回避。共通理解は「報告・連絡・相談・記録」から。
- ・ **組**織で対応 … 協働態勢と叡智の結集。安心・協力と学びの場。「学び合い・高め合い・相談し合い」が組織を成長させ、風通しのよい職場へと。

◎今年度の重点項目

○「生きる力」を育む15の取組

～自ら学び、可能性を発揮し、より良い社会の創り手となる力の育成に向けて～

➡ 知(確かな学力)・徳(豊かな心)・体(健やかな体)を一体的に育むための取組(調和)



- 「協働的な学び」と「個別最適な学び」の一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高めるとともに、「自ら学ぶ力」を育成するための工夫を図る。

(授業改善、KYOTO×教育DXビジョン、学びに向かう主体性の育成)

- 日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る。(自ら学ぶ力の育成)
- 自他を大切にする態度と内面への働きかけを通して、多様性を理解する姿勢を培うと共に、「公共の精神」としなやかで豊かな心を育成する。

(道徳教育、人権教育の充実、自己肯定感と自ら律する力の育成)

- 総合的な学習の時間、様々な体験活動を通して、「自分らしい生き方」を模索し、社会で自立するために必要な能力や意欲、態度を育成する。

(カリキュラム・マネジメントの視点をもったキャリア教育の推進、社会性の育成)

- 校種間連携・接続や地域と連携した取組を推進する。(保幼小中連携、地域貢献)